

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第100期（自平成14年4月1日 至平成15年3月31日）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済はデフレを克服できず株安の進行もあり景気回復の展望が見えないまま厳しい状況で推移いたしました。米国および欧州経済も景気の低迷状態が続きました。またアジア経済は中国が高成長を続けましたがその他の国では総じて緩やかな回復にとどまりました。

工作機械業界におきましては受注実績が平成14年10月以降前年同月比でプラスに転じたとはいえ依然として低い水準で推移いたしました。

このような状況の下で、当社は長年培った精密加工のノウハウをもとに、更に高度化するITおよび自動車関連のニーズを先取りした新製品CNC精密自動旋盤BU12/20、CNC精密自動旋盤BW07/12、CNC高精度自動旋盤C220、CNC高精度旋盤C300、CNC精密研削盤GU25S、CNC精密2頭立型研削盤TVG4、CNC精密転造盤R17NCA/R17NCBを市場に投入して参りました。

開発の成果が実を結びましたこれらの新製品を中心に、国内、アジア、米国、欧州において積極的に展示会に出品し、直接ユーザーにPRする等、販売活動を活発に行って参りました。

売上高につきましては、当期は引続き厳しい環境ではありましたが、新規ユーザーの開拓を積極的に行いました結果、前期比1.0%増の14,194百万円となりました。

輸出につきましては、アジアおよび米国は伸びましたが欧州が減少しました結果、輸出額は6,169百万円となりました。また、輸出比率は43.5%となりました。

機種別の売上高につきましては、主力の自動旋盤は

IT関連は伸び悩みましたが自動車関連等に新製品を積極的に拡販しました結果、前期比1.4%増の8,369百万円となりました。研削盤の売上高は前期比23.5%減の1,686百万円となりました。マシニングセンタの売上高は拡販に注力した結果、立形マシニングセンタの増収もあり前期比49.5%増の1,338百万円となりました。転造・ラップ盤の売上高は前期比10.6%減の843百万円、その他の製品の売上高は前期比11.5%増の1,956百万円となりました。

当期の損益につきましては、営業損失は260百万円、経常損失は166百万円、当期損失は特別損失に投資有価証券評価損等の計上をしましたため972百万円となりました。

配当につきましては、このような厳しい状況にありますので、まことに申し訳ありませんが、実施を見送らせていただきました。

平成16年3月期の見通しといたしましては、一層の企業体質の強化と収益力の向上に全社を挙げて取組み、売上高15,000百万円、経常利益300百万円の達成に向けて、全社を挙げて努力して参る所存であります。

株主の皆様には、今後とも倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

取締役社長

西嶋 尚生

トピックス

◆新製品◆

ITおよび自動車関連のニーズを先取りした新製品CNC精密自動旋盤BU12/20、CNC精密自動旋盤BW07/20、CNC高精密自動旋盤C220、CNC高精密旋盤C300、CNC精密研削盤GU25S、CNC精密2頭立型研削盤TVG4、CNC精密転造盤R17NCA/R17NCBを市場に投入し、積極的に拡販を図りました。



◆海外展示会に出品◆

平成14年5月10日から14日にかけて中国・上海で開催されましたDIE&MOULD CHINA 2002（中国国際金型技術および設備展覧会）、平成14年9月4日から11日にかけて、米国・シカゴで開催されましたIMTS 2002（シカゴショー）にそれぞれ製品を出品し、取引先の開拓を積極的に進めて参りました。

◆日本国際工作機械見本市（JIMTOF）に出品◆

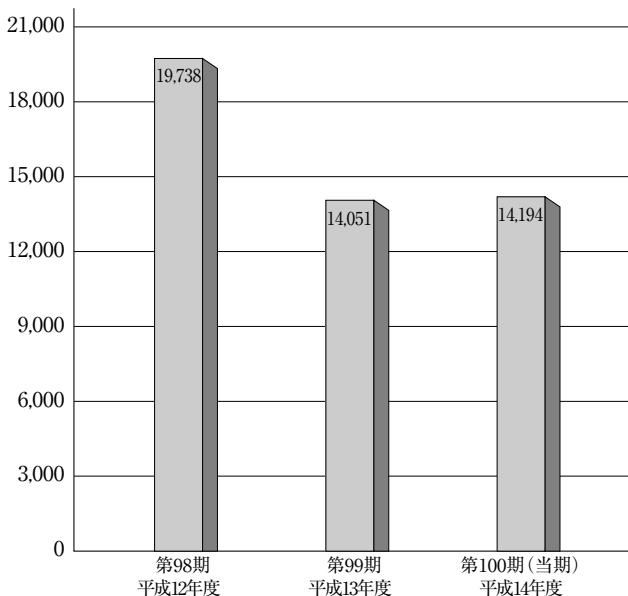
平成14年10月28日から11月4日にかけて、東京・有明の東京ビッグサイトで開催されました、世界3大国際工作機械見本市のひとつである日本国際工作機械見本市に製品を出品しました。多数のお客様がブースに来場され、活発な商談を行いました。



業績の推移

●売上高

(単位：百万円)



●営業成績および財産の状況の推移

(単位：百万円)

区 分	第98期 (自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)	第99期 (自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)	第100期 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
売 上 高	19,738	14,051	14,194
経常利益または 経常損失(△)	1,198	199	△ 166
当期利益または 当期損失(△)	1,054	△ 218	△ 972
1株当たり当期利益 または当期損失(△)	11.85円	△ 2.45円	△ 10.97円
総 資 産	30,416	27,880	25,041
純 資 産	20,792	19,945	18,827
1株当たり純資産	233円	224円	215円

(注) 1. 1株当たり当期利益は期中平均発行済株式総数により算出しております。
 なお、第99期からは発行済株式総数より自己株式数を控除して算出しております。
 2. 単位未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(平成15年3月31日現在) (単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	17,279	流動負債	5,902
現金及び預金	1,199	支払手形	3,243
受取手形	2,906	買掛金	821
売掛金	5,164	短期借入金	1,320
製 品	2,577	未払金	56
仕掛品	3,451	未払費用	132
原材料・貯蔵品	1,453	未払法人税等	10
未収入金	374	賞与引当金	123
その他	164	その他	194
貸倒引当金	△ 11	固定負債	311
固定資産	7,761	退職給付引当金	270
有形固定資産	5,589	その他	41
建物	2,482	負債合計	6,213
構築物	120	(資本の部)	
機械装置	1,686	資本金	10,599
車両運搬具	3	資本剰余金	9,138
工具・器具備品	199	資本準備金	4,138
土地	1,068	その他資本剰余金	5,000
建設仮勘定	27	資本準備金減少差益	5,000
無形固定資産	15	利益剰余金	△ 135
投資等	2,156	当期末処理損失	135
投資有価証券	1,578	(うち当期損失)	(972)
子会社株式・出資金	456	株式等評価差額金	△ 575
長期貸付金	137	その他有価証券評価差額金	△ 575
長期債権	916	自己株式	△ 199
その他	49		
貸倒引当金	△ 982	資本合計	18,827
資産合計	25,041	負債・資本合計	25,041

損益計算書

(自平成14年4月1日
至平成15年3月31日)

(単位：百万円)

科 目		金 額		
経常損益の部	営業損益の部	営業収益		14,194
		売上高		
		営業費用		
		売上原価	13,279	
		販売費及び一般管理費	1,175	14,455
		営業損失		260
	営業外損益の部	営業外収益		
		受取利息及び配当金	22	
		賃貸料収入	80	
		受取保険金	68	
その他営業外収入		45	216	
営業外費用				
支払利息		19		
	貸与資産費用	54		
	その他営業外費用	48	122	
	経常損失		166	
特別損益の部	特別利益			
	貸倒引当金戻入益	17		
	その他の特別利益	5	23	
	特別損失			
	投資有価証券評価損	757		
	その他の特別損失	61	819	
	税引前当期損失		962	
	法人税、住民税及び事業税		10	
	当期損失		972	
	前期繰越利益		836	
	当期末処理損失		135	

損失処理

(単位：円)

摘 要	金 額
当 期 未 処 理 損 失	135,972,301
これを次のとおり処理いたします。	
次 期 繰 越 損 失	135,972,301
そ の 他 資 本 剰 余 金	5,000,000,000
これを次のように処分します。	
その他資本剰余金次期繰越額	5,000,000,000

株式の状況

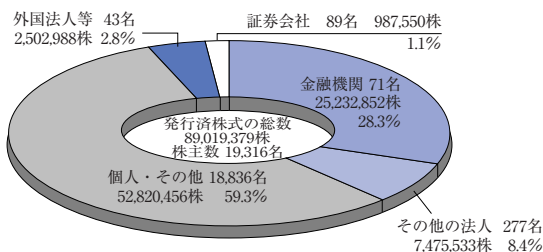
(平成15年3月31日現在)

- ①会社が発行する株式総数 160,000,000株
 ②発行済株式の総数 89,019,379株
 ③株主数 19,316名
 (前期比1,045名減)
 ④大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託東京精密口)	4,592千株	5.30%
株式会社森精機製作所	3,308	3.82
株式会社三井住友銀行	2,416	2.79
第一生命保険相互会社	1,800	2.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,660	1.91
ツガミ取引先持株会	1,548	1.78
日本生命保険相互会社	1,532	1.77
株式会社北越銀行	1,484	1.71
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	1,303	1.50
デビテシオ501000 ナンバーワン	1,045	1.20

- (注) 1. 議決権比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2. 当社は株式会社三井住友銀行の完全親会社である株式会社三井住友フィナンシャルグループの普通株式を424千株(議決権比率0.00%)所有しております。
 3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託東京精密口)の持株数4,592千株は、株式会社東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は株式会社東京精密が留保しております。また、当社は株式会社東京精密の株式65千株(議決権比率0.17%)を所有しております。
 4. 上記表以外に株主名簿上自己株式が1,660千株あります。このうち当社の実質の自己株式の所有数は1,658千株であります。

⑤所有者別株式分布状況



⑥株価および売買高(東京証券取引所市場第一部)

年/月	平成14/4	5	6	7	8	9	10	11	12	平成15/1	2	3
株価(円)	249	237	251	229	205	174	170	159	125	135	147	144
	192	200	199	201	165	141	128	85	96	109	115	118
売買高(千株)	8,251	4,996	8,204	3,591	3,037	3,332	3,114	5,130	4,010	2,806	2,609	2,516

株価=上段は最高株価、下段は最低株価

会社の概要

(平成15年3月31日現在)

①設立 昭和12年3月

②資本金 10,599百万円

③主要営業品目

●工作機械

CNC精密自動旋盤
CNC精密多軸自動旋盤
CNC精密円筒研削盤
横形精密マシニングセンタ
立形精密マシニングセンタ
精密転造盤
精密ラップ盤

CNC精密自動旋盤BU12



CNC高精度自動旋盤C220



●測定器・原器

精密測定器
ゲージブロック

●その他

ねじインサート(E-サート)
ロールダイス
スプライン

CNC精密転造盤R17NC

立形精密マシニングセンタVMT4



④本社・工場

本社 東京都港区浜松町1丁目26番1号
長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号
信州工場 長野県佐久市大字中込3600番地

⑤従業員の状況

区分	従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性	363名	77名増	42.4歳	19.6年
女性	56	7名増	34.0	13.1
計または平均	419	84名増	41.5	18.9

- (注) 1. 従業員数は、就業人数であり、当社より関係会社への出向者(90名)を含んでおりません。
2. 従業員数が、当期において84名増加しておりますが、その主な理由は子会社への出向者が当社へ戻ったことによるものです。



(平成15年3月31日現在)

取締役社長	野	口	光
常務取締役	柏	誠	四郎
常務取締役	菊	池	克治
常務取締役	大	宮	郁士
取締役	小	林	哲男
取締役	相	沢	静雄
取締役	西	嶋	尚生
常勤監査役	中	里	博
常勤監査役	近	藤	惣一郎
常勤監査役	三	谷	文彦
監査役	西	村	裕

- (注) 1. 平成14年6月27日開催の第99期定時株主総会終結の時をもって、代表取締役会長湯浅健次は任期満了により退任しました。
2. 平成14年6月27日開催の第99期定時株主総会において、新たに三谷文彦が監査役に選任され就任しました。
3. 平成15年3月27日開催の取締役会において、代表取締役社長野口光が取締役相談役に、取締役西嶋尚生が代表取締役社長に選任され、平成15年4月1日付けをもってそれぞれ就任いたしました。
4. 常勤監査役近藤惣一郎、三谷文彦は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株 主 メ モ

決 算 期 3月31日

定 時 株 主 総 会 6月

配 当 金 支 払 確 定 日 3月31日

なお、中間配当を実施するときの中間配当金支払株主確定日は、9月30日であります。

株式の名義書換

名義書換代理人 UFJ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番3号

同 事 務 取 扱 所 UFJ信託銀行株式会社証券代行部
郵便番号 137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 (03) 5683-5111 (代表)

同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店営業所

公 告 掲 載 紙 官 報

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所、大阪証券取引所

株式の事務手続き（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話（通話料無料）

0120-24-4479（本店証券代行部）

0120-68-4479（大阪支店証券代行部）

インターネットアドレス <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株式保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

